

イエス・キリストに出会い

人生の究極の疑問

私は、1972年に大阪で生まれ広島で育ちました。田舎町で元気いっぱい悩みもなく過ごしていました。

しかし、中学生になる頃、私の目の前に大きな壁が立ちました。

それは、自分が「何の目的で生きているのか?」、「どこに向かって生きているのか?」と言う「生きること」に対する疑問でした。

多感な時期であった私にとって日に日に、その疑問が大きくなって来るのでした。

答えを求めて

その疑問に対して、何の解決もなく悶々と中学・高校と過ごしその後、大阪の学校へ進学しました。

親元から離れ、全く新しい環境で心新たにスタートした学生生活でしたが、何をするにも地に足が着かない状態でした。それは、人生の大きな問題が未解決であったからでした。

この疑問の答えが欲しいと思っている中、「海外へ行ったら解決が与えられるのではないか」と思い、学校を退学しました。

1999年10月、私が19歳の時ニュージーランドのクライストチャーチという街に行きました。

私はそこで3ヶ月現地のある家庭にホームステイをしました。お世話になったホストファミリーは、キリストを信じ毎週教会に通うクリスチャン家族でした。

その家族の一室を使用させて頂きましたが、その机には日本語の新約聖書が置かれてあったのです。

また、しばらく通う事になった語学学校もクリスチャンの方によって運営されていました。

クリスチャンとの出会い

学校には、多くの日本人が学んでおり、私のクラスの中でも数人の日本人の人達が学んでおりました。

その中に、1人の日本人クリスチャンがいました。そして、次第にその方を話をするようになりました。

私はある時、そのクリスチャンの方に私が今までずっと抱え未解決であった疑問を尋ねて見ました。

するとその人は、「あなたを造られた神様は、あなたにしっかりとした目的を持っておられますよ」と言われたのです。

私は、そこで初めて神様がおられて、その神様が私を造りちゃんと生きる目的を私に与えて下さっているという事を知ったのです。

新しい道へ

それから私は、ホームステイ先にあった聖書を読むようになりました。

最初は読みにくいものでしたが、「ここに記されてある事を本当に信じる事が出来たらならば何も恐れることはない」と思いました。

そんな中、日本で40年もの間宣教師であった老夫妻に出会い、聖書に親しむ時を持たせて頂きました。

聖書の話しを聞いている中で、イエス・キリストが私の心をノックしておられる事を知ったのです。

その時私は、目的を持って私を造り愛して下さっておられる神を心の中にお迎えしようと決心しました。

それは、1993年1月2日のことでした。

聖書に「あなたがたは代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい」と書いてあります。

この言葉によって、私の人生の目的は神の愛を實踐して行くことだと深く教えられたのです。

私は天と地の全てを造られ、私達をも造られた愛である神に出会い以前から抱えていた大きな疑問を解決して頂きました。

私の人生の目的は、神の愛を多くの人々に現し、神に向かって生きて行くことです。その目的の手段として今、牧師へと導かれております。

新しい道が開け、迷いもなく大胆にこの道を歩ませて頂いている事を心か感謝しています。

また、多くの方に私達の人生の道のりを確かにして下さるイエス・キリストに出会って頂きたいと心から願っております。